

## 子どもの食物アレルギー 教員らが対応学ぶ

教育現場などで子どもが食物アレルギーを発症した場合の対応をテーマにした講習会が

三日、名古屋・名駅のウインクあいちであり、参加した小中学校の教員ら約百人が注射

が主催した。

藤田保健衛生大医学部小児科の近藤康人教授は、アレルギー反応のアナフィラキシーは、速やかにエピペンを注射する必要があると説明。参加者は、人形を使って、「大丈夫だよ」と声を掛けながら太ももの外側に注射する練習をした。



藤田保健衛生大の近藤教授（右手前）の指導で、エピペンの注射を練習する参加者。名古屋・名駅のウインクあいちで

近藤教授は「目の前でアナフィラキシーが起ると、われわれですらどきどきする。焦ると子どもはより不安になるので、成果を学校に持ち帰って講習を繰り返して」と呼び掛けた。

（立石智保）